第2回（2025年）「日本生態学会自然史研究振興賞」

受賞候補者応募（推薦）用紙

　日本生態学会自然史研究振興賞選考委員会委員長　殿

下記のごとく、日本生態学会自然史研究振興賞に応募（推薦）いたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2024年　　月　　日

応募者（推薦者）氏名：

連絡先（e-mailアドレスもしくは電話番号）：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

　１．受賞候補者

　　　 氏　名：

生年月日：

　　　 所　属：

　　　 連絡先：

＊お送りいただいた情報は、本賞選考のための資料とするほか、今後の選考方法の見直しに向けた検討の参考資料とすることがあります。その場合、個人や団体が特定されることはありません。

　２．応募（推薦）理由およびこれまでの活動内容

＊なるべく具体的にお書きください。

＊「自然史研究の基盤となるデータ収集と公開への貢献」の観点に基づいた応募（推薦）理由を記載してください。別紙添付可。

　３．これまでに発表・収集・公開された実績リスト

＊報告書、データ集、著書、総説、原著論文、国内外での学会・研究集会での発表、その他特筆事項（例：地域的な自然史調査活動、社会的な教育・普及活動、データベース公開など）について、項目別に記述してください。

＊A4別紙を添付してください。

　４．会員活動歴（学会入会年，学会での主な発表歴など）

＊A4別紙を添付してください。

　５．出産、育児、介護等で調査活動を中断していた期間の有無

＊産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休業の取得による中断など、研究を中断していた期間があれば、その説明を記述してください。内容や期間を十分に考慮した上で審査を行います。

　６．主要実績5点以内のPDFまたはURL

＊実績には、原著論文だけでなくデータベースの構築や自然史情報の記録・公開なども含まれます。

【応募に当たっての留意点】

＊本賞は、生物多様性の理解の源となる記載的研究を丹念に行うことにより、生態学の基盤強化に寄与している日本生態学会会員を対象として選考します。日本生態学会の既存の賞では評価されにくい研究・活動業績に対して、積極的に光を当てていくことを目的としています。

＊記載的研究とは、生物多様性の可視化の源泉となる情報、すなわち生物の分類、分布、行動、個体数変動、生活史などに焦点を当てた研究であり、特定の地域に根ざした研究も含みます。その一次情報（記載的な基礎データ）が公開され、生態学研究者や関連コミュニティーにおいて共有できているものを選考対象とします。

＊審査は、これまでに発表・収集・公開された基礎データの精査を中心に行います。収集した基礎データを用いて発表した学術論文としての研究成果を問うものではありません。選考に際しては、集積された基礎データの質的・量的重要性、基礎データの公開度とアクセス性、自然史研究の教育・普及活動などの観点も評価対象とします。